

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 国語に対する関心を深め、基礎・基本である、話す・聞く・書くことを学び、幅広い読書により読む力を養う。 ● 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。 ● 段落相互の関係やまとまりに注意しながら文章を書いたり、目的に応じて、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む。 ● 話や文章に含まれている情報を理解し比較や分類の仕方、必要な語句などの書留め方、引用や出典の示し方、辞書、辞典の使い方を理解する。 ● 伝統的な言語文化に触れ、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解し使いながら、文字の形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材文と関連した図書を用意し幅広く読書に親しませ、語彙を増やす。 ● 文章構成や接続語・指示語などの役割を十分理解させるとともに、話題の中心を明確にし、メモを活用しながら文章を書くよう指導する。他教科と関連付けて、報告文や新聞、手紙など多様な言語活動を設定する。 ● サイドラインや書き込みによって中心となる語や文を捉えさせ、要点をまとめたり、小見出しを付けたりする活動を設定する。 ● 辞典や図鑑などから情報を得て、分かった事などをまとめて説明する言語活動に取り組ませる。意味調べや漢字の短文作りに国語辞典の活用を促す。 ● 詩や俳句を音読に取り入れる。書写では、初めて取り組む毛筆の授業において、筆の運びを意識して毛筆に取り組ませる。また準備後の片付けなど、一連の作業がスムーズに行えるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。 ● 地域における社会的事象から学習問題を見いだして追究し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて思考・判断したことを適切に表現する。 ● 地域における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする。 ● 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度から、新型コロナウイルス感染症対策に伴う見学や体験活動の制限は行わないこととし、積極的に地域へ出て学ぶ機会を設けていく。 ● 又、効率的かつ効果的に学ぶことができるように、必要に応じてICT機器を活用し、デジタル資料を提示することで、社会的な見方・考え方を働かせながら楽しく調べ学習ができるようにする。 ● 学校の周辺、家の近くなど、児童が知っている地域から学習を始め、抵抗なく学習に取り組めるようにする。 ● 単元毎に、学習した内容を地図やリーフレットのなどの形でまとめさせる。まとめる活動を通して、学習内容を深めたり、資料活用能力を養ったりする。 ● 総合的な学習の時間との連携を図って学習を計画することで、地域について探究的に学習する機会を設定する。 ● 地図帳や地図記号を積極的に使い、日常の学習の中から資料を活用する経験を積み上げる。 ● 様々な道具の変化を取り上げた資料によって、区の変化とともに人々の生活の様子も変化していったことについて理解させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ● 数理的な事象に関心をもち、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べ、筋道立てて考えることよきに気付き、すすんで生活や学習に活用しようとする。 ● 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道立てて考え表現して、そのことから考えを深め、数学的な考え方の基礎を身に付ける。 ● 「整数などの計算」「長さや重さなどの測定」「構成要素に着目した図形の構成」「数量の関係の表現」の技能を身に付ける。 ● 数量や図形の感覚を豊かにし、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、長さや重さなどの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少人数指導や支援員を活用することで、児童それぞれの課題が把握できるようにする。課題把握を生かして、それぞれに必要な手立てを考え、指導する。 ● 「量と測定」の領域においては、特に作業的・体験的活動を重視し、学習内容がより定着させられるようにする。併せて、作業的・体験的活動と実生活を結び付けた問いを用意することで、量感を育む。 ● 問題解決型の授業を展開し、自力解決場面、集団検討場面における児童の表現力を育む。 ● 答えに至る過程を、図・言葉・式などでノートに書かせることで、論理的に考える力、表現力を育む。 ● 2人組やグループでの活動を設定することで、自分の考えを表現したり、他者の考えを受け取ったりする経験を積ませる。 ● 各単元のまとめでは、学習を振り返り、個々の進捗で復習を進められるようにし、一人一人が理解を深めたり、力を伸ばしたりできる時間とする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然の事物・現象に興味・関心をもち追及し、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ● 自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見出す問題解決の力を育成する。 ● 簡単な器具や材料を見付けたり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を分かりやすく記録する。 ● 「物の性質」「風とゴムの力の働き」「光と音の性質」「磁石の性質及び電気の回路」「身の回りの生物」「太陽と地面の様子」について実感をもって理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年生は生物に関する学習が多い。できる限り本物を見せることで、成長の様子を具体的に捉えられるようにしたいが、工事の関係等により、難しい。見通しをもって単元の指導計画を立てることで、準備できるものは準備する。難しいものに関しては、ICT機器を活用してデジタル資料を提示することで、自然の事物・現象に興味・関心をもち学習できるようにする。 ● 実験では、問題、予想、計画、結果、考察、結論の項目を示し、問題解決型の授業を展開する。また、3年生で初めての理科が始まるので、実験ノートの書き方等も合わせて指導する。 ● 書く観点や順序、表現方法を具体的に指導することで、個々の理解の違いを埋め、全員が学習に参加できるようにする。 ● 児童が興味・関心をもち主体的に学習に参加できるように、課題提示の工夫や実験教材の準備などの学習環境を整える。 ● 自然の事物や現象についての気付きや疑問を大事にし、日常生活の中でも話題にすることで、学習に対する意欲や意識を向上させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲想と音楽の構造などとの関わりに気付き、音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、自分の思いや意図をもち、工夫しながら、すすんで表現する。 ● 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽の学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽譜の基本的な読み方が確実にできるようにし、リコーダーの技能に個人差がないように、個別に指導する。また、鑑賞では、知覚したことと感受したことを関連させるように、板書やワークシートを工夫して、計画を立てる。 ● 一つの題材の中で学習する内容を明確にし、児童の技能が高まるように学習活動を工夫する。 ● 一人一人が楽しんで取り組めるような教材、題材計画を工夫し、児童が音楽を楽しむことができるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりする。 ● 感じたことや見たこと、表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりする。 ● 感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、工夫して表現する。 ● 身の回りの作品や友達の作品を見て、表現の面白さや楽しさ、美しさに気付いたり、感じ取ったりし、自分の見方や感じ方を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分で好きな形や色を選び、感覚や気持ちや生かしながら楽しく活動できるように教材を選択する。 ● 身近な材料から材料を探し、素材のよさや持ち味を生かして作品を作ることができるようにする。 ● 場合に応じて、制作の過程や見本を提示し、見通しをもって取り組めるようにする。 ● 基本的な用具の扱い方を指導する。特に、はさみ・カッター使用等の指導では、机間指導をはじめ、段階的な指導のためのシートを活用することで安全に使用できるように指導する。 ● 自分や友達の作品を楽しく見たり、感じたことを友達と話し合ったりする活動を多く取り入れ、自分の作品作りに生かせるようにする。 ● 展覧会では、多くの作品に触れさせることを通して、意欲を高めたり、感性を磨いたり、作品のもつよさに気付いたりできるように指導する。

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動にすすんで取り組み、決まりを守り互いに協力し、健康安全に留意しようとする。 ● 自己の能力に適した課題をもち、自ら運動の仕方を工夫する。 ● 運動にすすんで取り組み、仲間と協力して課題を解決していく。 ● 運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付ける。 ● 健康な生活に関心をもち、課題の解決を目指して実践的に考え判断し、表現する。 ● 健康な生活について、自らの課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染対策（ソーシャルディスタンスの確保等）を講じた上で、音楽や道具を活用し、意欲をもって楽しく運動できるようにする。 ● 単元の始めに、オリエンテーションを行うことで、単元全体の学習の流れを示し、児童が見通しをもってすすんで学習に取り組めるようにする。 ● 教材・教具の精選や、効果的な活動・場の設定により、基本的な技能が身に付けられるようにする。 ● 学習の中で、課題解決（体の動かし方の工夫、ルールへの工夫等）の場面を意図的に設定することで、「よりよく」を意識して運動しようとする意欲や工夫して運動しようとする意識を高められるようにする。 ● ペアやトリオ、グループでの活動を取り入れることで、友達と関わり合い、協力し合いながら、技能を向上させられるようにする。 ● 学習内容を体育ノートに記述させることで、分かったことや考えたことを視覚化させる。 ● 健康な生活についての関心を高めるために、日常生活の中でも話題にすることで、学習に対する意欲や意識を向上させる。 ● 改築工事で校庭が使用不可の現状や、感染症による社会的距離を踏まえ、限られた場所で可能な運動の仕方を工夫する。
-----------	--	--